



「市長へひとこと」



一関市長 勝部修 へて FAX21-2110
あなたの声をお寄せください。

発信人 〒□□□-□□□□

住所

氏名

年齢 歳 男・女

職業 (学校名)

TEL.

のりしろ

のりしろ
(切り取り)

のりしろ

のりしろ

のりしろ

のりしろ

- 封書として利用する場合は、この面が内側にくるように折り、封筒を作ってください。
- FAX送信票として利用する場合は、この面を送信してください。
- 記入された個人情報は、適切な保護と管理を行い、他の目的には使用しません。

安心

安心な地域社会の実現を

安全安心まちづくり市民大会は12月6日、東山地域交流センターで催され、400人の参加者が交通安全、防犯活動を推進し、安全で安心な地域社会を実現することを誓いました。

大会では、退任交通指導員への感謝状の贈呈、交通安全ポスターコンクール入賞者への表彰状授与が行われた後、大会長の勝部市長がこの大会が安全で安心なまちづくりに寄与することを願うとあいさつしました。

9月に行われたわたしの主張一関地区大会と同一関東地区大会で最優秀賞を受賞した二人が意見を発表。厳美中3年の佐藤李香さんは「踏み出した一歩」を、興田中3年の伊東志乃さんは「勇気をもって」を壇上で堂々と主張しました。

千厩警察署の永澤昌敏生活安全課長が「事件事故のない安全安心なまちづくりについて」と題し講演。永澤課長は「この地域は、鍵をかけていないお宅への空き巣被害が県内でも多い。外出時には鍵をかけることで被害を少なくできます」と語りかけました。一関市交通指導隊は「こある幼稚園の交通安全教室」帰り道」と題した寸劇を披露し、幼児の安全を地域で守る大切さを呼びかけました。



佐藤李香さん(厳美中3年)ら二人が堂々と主張しました

最後に、「安心して暮らせる住みよいまちを築くため、犯罪と交通事故のない安全で安心なまちづくりに取り組んでいく」と大会宣言が採択されました。



審査会場で受賞を喜ぶ商工会議所青年部東山支部会員

CM大賞

銀賞受賞で年間100回放送

「ふるさとCM大賞 in IWA TE2009」は12月6日、盛岡市で審査会が行われ、「潜入捜査せよ!!」一関の甘い誘惑で参加した一関市は、第3位にあたる銀賞を受賞しました。

CMの制作にあたった一関商工会議所青年部東山支部の代表者は12月11日、勝部市長に受賞を報告。制作責任者の菊地淳副支部長は「メンバーが交代して初めての作品。受賞は素直にうれしかった」と語りました。勝部市長は「CMを見たが、今までとは切り口が違うので斬新だった。上位3作品は紙一重だと思」とねぎらいました。

CM大賞は、市町村の魅力や「ふるさと」の視点から30秒でPRするもの。今回は、県内30市町村が参加しました。一関市のCMは、「一関市以外の人たちが調べて見る価値ありだな」と感じてもらうことを狙いとしたもので、刑事ドラマ風にとめられています。CMは、今後1年間、岩手朝日テレビで100回放送されます。



力強く決意を述べた佐藤主将(左から2人目)

一関学院高校陸上部は、全国高等学校駅伝競走大会(12月20

高校

一関学院15年連続全国へ

日、京都市開催)への出場を決めました。15年連続19回目の出場となる同校。小野寺佳代子校長ら同校関係者が12月11日、市役所本庁を訪れ、大会での健闘を誓いました。

小岩光宏総監督は「各種高校選抜大会の先陣となる大会。岩手のスポーツ界を引っ張るつもりで頑張る。応援でも岩手一関をアピールする」と語り、佐藤達也主将(3年・室根中出身)は「たくさんの方々に応援いただいている。入賞して恩返ししたい」と決意を述べました。

勝部市長は「高校駅伝は冬の風物詩。全国から注目される大会です。頑張ってください、期待しています」と激励しました。10月16日行われた県予選では、全区間で区間賞を独占し、2時間10分を切る好タイムを残した同校。3年ぶりの入賞が期待されます。